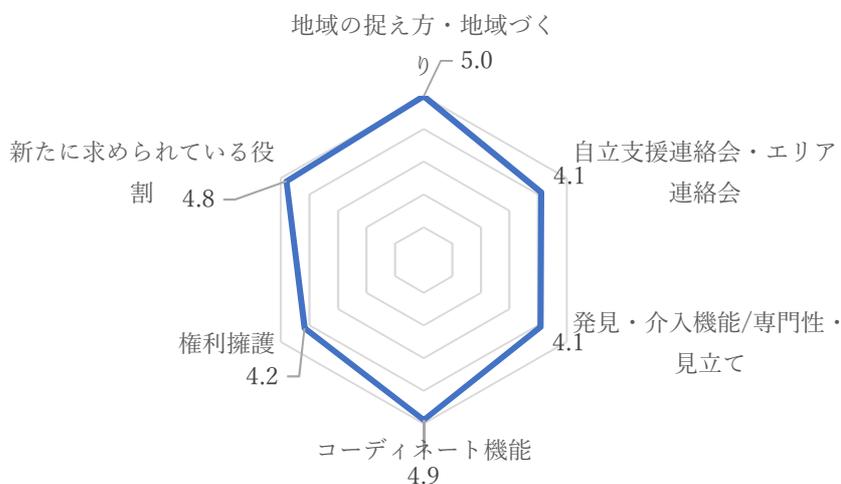


# 令和7年度委託相談評価 天竜センター

## 自己評価レーダーチャート



### 1. 総評

天竜区における相談支援の拠点が確立されたことで、地域に根ざした連携体制が強みとして高く評価されています。

### 2. 強み、求められる機能

- ・ 天竜区にセンターが独立設置されたことで、地域住民や関係機関にとってのアクセスが向上し、日常的なコミュニケーションが図りやすくなったと評価されている。
- ・ スクールソーシャルワーカー（SSW）との定期的な情報共有や、地域包括支援センターとの同行訪問など、教育・福祉・介護の枠を超えた多職種・多分野にわたる連携が定着している。
- ・ 障害種別に関わらず、本人の成育歴や家族状況、環境を重視したトータルなアセスメントを実施しており、多職種事例検討会を通じて見立ての質を高めている。
- ・ 入院中から退院後のフォローまで一貫した支援を行っており、医療機関との適切な役割分担や調整が積極的に進められている。
- ・ 要保護児童対策地域協議会（要対協）へ出席し、虐待背景のあるケースに対しても権利擁護の視点から積極的な助言や介入を行っている。

### 3. 今後の取り組みへの期待

- ・ 「こどもアセスメントツール」の使用件数が少ない状況であるため、今後は教育関係者と福祉的見立てを共有する機会を設けるなど、ツールの活用が進むことを期待したい。
- ・ 中山間地域特有の地理的条件（道路寸断の可能性等）を踏まえた災害時の具体的な支援体制や対応等について、エリア連絡会の機能等を活用しながら、地域の方と共に検討することを期待する。
- ・ 障がい者の高齢化を見据え、地域包括支援センターやケアマネジャーと協働し、障がい福祉から介護保険へのスムーズな移行のための取り組みについて期待する。